

会社概要

商号 林兼産業株式会社
本店所在地 〒750-8608
山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL (083) 266-0210 FAX (083) 266-1266
主要製品 食肉加工品(キリシマハム)・肉類(霧島黒豚)
魚肉ハム・ソーセージ
機能性食品(エラスチン・ソフミート)
養魚用飼料

役員一覧

2022年9月30日現在

取締役社長 (代表取締役)	中 部 哲 二
専務取締役	兼 経営企画室担当 兼 総務部担当 兼 人事部担当 三 代 健 造
取締役 (社外・非常勤)	岩 村 修 二
取締役 (社外・非常勤)	牟 田 実
取締役 (社外・非常勤)	山 尾 哲 之
取締役 飼料事業部長	高 田 啓 吾
取締役 経理部担当 兼 品質保証部担当	宮 崎 一 郎
取締役 食品事業部長	平 野 斉
取締役 食品事業部長補佐 (非常勤)	安 部 克 彦
常任監査役 (社外・常勤)	中 嶋 一 貴
監査役 (非常勤)	川 崎 哲 彦
監査役 (社外・非常勤)	桑 原 望
監査役 (社外・非常勤)	三 田 村 知 尋

○株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
連絡先	電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(スタンダード市場)
公告の方法	電子公告により行う



この報告書は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。

Today's Special

寒い季節に 当社オンラインショップのおすすめ商品

霧島黒豚 みそちゃんこ鍋セット



調理例はこちら



冬の定番「ちゃんこ鍋」は、野菜もお肉もたっぷり
食べられる、心も体も温まる逸品です。

当社のちゃんこ鍋セットはこの冬からリニューアル!
つみれをスプーンでお好みのサイズに成形でき
るようにいたしました。

霧島黒豚の旨味と濃厚な味噌スープの深いコク
が、やみつきになる美味さです。

ぜひご堪能ください。



オンラインショップはこちら



当社ホームページでIR情報等が
ご覧いただけます。

<https://www.hayashikane.co.jp/>

林兼産業

検索

証券コード | 2286

With you

第84期

中間期

株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日



社長から皆さまへ

株主の皆さまに第84期中間株主通信をお手もとにお届
け申しあげるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚く
御礼申し上げます。

当中間期の当社グループの売上高は、外食需要の回
復に伴う食肉加工品の販売数量増加、および原材料価格
やエネルギーコストの高騰に対応するために行った食品・
飼料の価格改定により、208億73百万円(前年同期比
3.3%増加)となりました。しかしながら、損益面におきまして
は、価格改定が原価の高騰分に追い付かず、また、前連結
会計年度に行ったグループ再編の影響もあり、営業利益
は55百万円(前年同期比90.1%減少)、経常利益は1億
1百万円(前年同期比84.8%減少)、親会社株主に帰属
する四半期純利益は11百万円(前年同期比97.3%減
少)となりました。

このような状況のなか、当社グループは本年4月に「中
期経営計画<挑戦>PhaseII<<challenge2024>>」
(2023年3月期～2024年3月期)を策定し、スタートさせま
した。前中期経営計画に引き続き、変化を恐れぬ挑戦を継
続し、経営資源の更なる選択と集中による構造改革を推
し進めて収益力をより強固なものにするとともに、環境負荷
の軽減(温室効果ガス排出量削減や地球温暖化対策)に
努めるなど、事業活動を通じてSDGsの達成に
貢献することを目指して
おります。今後とも一層
のご支援、ご鞭撻を賜り
ますようお願い申しあげ
ます。

2022年12月

取締役社長
中 部 哲 二



※「中期経営計画<挑戦>PhaseII<<challenge2024>>」の詳細につ
きましては、当社ホームページ「中期経営計画」をご参照ください。
[<https://www.hayashikane.co.jp/ir/managementplan/>]

セグメント概況

[食品事業]



機能性食品は、機能性食品素材エラスチンの海外向け販売数量が増加したことにより、増収となりました。

魚肉ねり製品は、海外向けの販売数量が落ち込んだことにより、減収となりました。

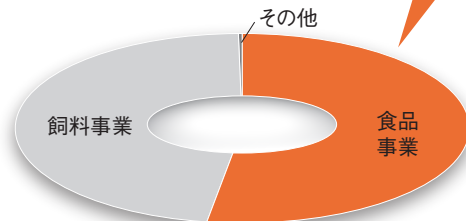
ハム・ソーセージ等食肉加工品は、外食需要が回復しつつあることにより販売数量が増加し、増収となりました。

肉類は、飼料価格の高騰などに対応するため自社ブランド「霧島黒豚」および国産豚の価格改定を行ったことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は110億1百万円(前年同期比5.8%増加)となりました。

セグメント別売上高

110億1百万円
(前年同期比**5.8%**増加)



[飼料事業]



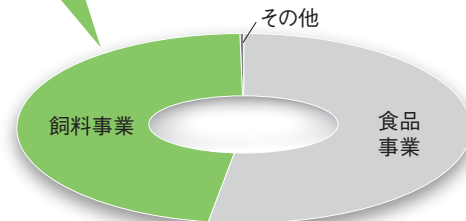
養魚用飼料ならびに畜産用飼料は、原材料価格高騰に対応した価格改定により増収となりました。

水産物は、相場が堅調に推移したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は98億51百万円(前年同期比12.1%増加)となりました。

セグメント別売上高

98億51百万円
(前年同期比**12.1%**増加)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2022年9月30日)
資産の部	
流動資産	16,461
固定資産	12,978
有形固定資産	8,543
無形固定資産	14
投資その他の資産	4,419
資産合計	29,439
負債の部	
流動負債	14,042
固定負債	5,742
負債合計	19,785
純資産の部	
株主資本	8,751
資本金	3,415
資本剰余金	2
利益剰余金	5,392
自己株式	△58
その他の包括利益累計額	902
その他有価証券評価差額金	874
繰延ヘッジ損益	3
退職給付に係る調整累計額	24
純資産合計	9,653
負債純資産合計	29,439

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

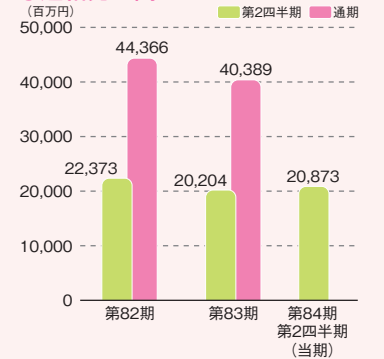
科目	当第2四半期 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	20,873
売上原価	18,453
売上総利益	2,419
販売費及び一般管理費	2,364
営業利益	55
営業外収益	149
営業外費用	103
経常利益	101
特別利益	1
特別損失	52
税金等調整前四半期純利益	50
法人税等合計	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	11

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

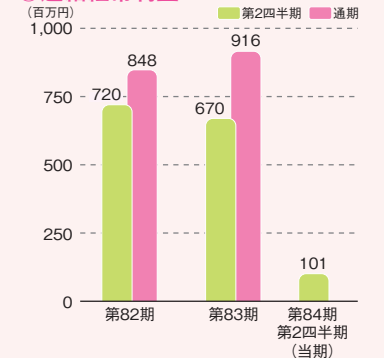
(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△323
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△877
現金及び現金同等物の期首残高	1,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,064

○連結売上高



○連結経常利益



○親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

